

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	遺族援護費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	戦没者遺族の援護対策事業、関係団体育成の推進を図る。						
対象	1. 個人	戦没者等の遺族				1,600 人	
根拠法令等	法律等	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法等					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別弔慰金支給法に基づく特別弔慰金、各種特別給付金の申請受付 国、県主催の戦没者追悼式への参列受付 市主催戦没者追悼式の実施 遺族会へ補助金を交付 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 神奈川県生花小売商協同組合 藤沢支部) (委託等内容 : 市戦没者追悼式における壇上花、追悼の標の足元装飾等) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 藤沢市遺族会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 780 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	106 千円	追悼式司会者謝礼、参加者供物
		委託料	326 千円	戦没者追悼式祭壇装飾等業務委託
		負担金補助及び交付金	239 千円	市遺族会補助金
		需用費	103 千円	消耗品
		役務費	6 千円	クリーニング代等
財源内訳	H30年度 支出済額 780 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	64 千円	
		その他 ()		
		一般財源	716 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.09
再任用短時・任期付短時職員	0.36
非常勤職員	0.00
合計	0.45

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	22,272	7,526	3,308	3,074			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,528	9,584	4,900	2,897			
	事業費(支出済額－②報酬合計)	2,399	2,071	2,074	780			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	16,129	7,513	2,826	2,117			
	職員数(常勤 非常勤)	2.70 0.00	1.22 0.00	0.75 0.00	0.45 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	15,571	7,241	2,813	2,075			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	558	272	13	42			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,744	-2,058	-1,592	177			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,744	-2,058	-1,592	177			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	52.95	420,619	17.70	425,105	7.74	427,501	7.16	429,317

成果実績	指標名	追悼式参列者人数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			217	単位	220	単位	206	単位	204	単位
				人		人		人		人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		追悼式典の参列者は、戦没者遺族の高齢化等により年々減少傾向にあるが、式典の性質上、目標設定にはなじまないため。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		102,635.94		34,209.09		16,058.25		15,068.63		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	遺族の高齢化が進み, 追悼式参列者の負担が増加。
(2)	(1)解決のための今後の取組	追悼式参列者の意見等も踏まえ, 参列者の負担軽減について配慮しながら事業を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	特別弔慰金国債交付事務等が適正に行われ, 戦没者の遺族に対する援護を図ることができた。また, 藤沢市遺族会発足70周年記念事業の支援とともに市主催の戦没者追悼式を行い, 遺族に対し弔意を表し, 人命の尊さを再確認し, 恒久平和に向けて取り組むことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	戦没者の遺族に対する援護事業と関係団体育成の推進を行うことにより, 遺族に対する弔意を表すとともに, 現在の平和が多く犠牲の下にあることを再確認し, 恒久平和に向けて引き続き取り組んでいく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
15	弔慰金支給等に関すること(戦没者遺族, 戦傷病者等援護)	無	無	1	
16	追悼式に関すること	有	有	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	原子爆弾被爆者援護費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	005	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内在住の被爆者(被爆者手帳の交付を受けている者)の福祉の向上を図るため援助を行う。						
対象	1. 個人	市内に1年以上在住の被爆者手帳保持者			156	人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市原子爆弾被爆者の援護に関する条例, 同施行規則, 原子爆弾被爆者相互相談育成事業補助金交付要綱					
事業実施内容	市内在住の被爆者(被爆者健康手帳の交付を受けている者)に援護手当(月額3,000円)及び年末見舞金(5,000円)を支給した。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		扶助費	6,465 千円	援護手当・年末見舞金
		6,465 千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	6,465 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.05
再任用短時・任期付短時職員	0.12
非常勤職員	0.00
合計	0.17

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	x	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	8,765	6,905	7,212	7,452			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,425	7,245	7,150	7,363			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	7,470	6,946	6,675	6,465			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	299	475	898			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.08 0.00	0.10 0.00	0.17 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	299	466	875			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	0	9	23			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-340	62	89			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-340	62	89			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	20.84	420,619	16.24	425,105	16.87	427,501	17.36	429,317

成果実績	指標名	登録者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	179	単位 人	167	単位 人	162	単位 人	156	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		援護対象が被爆者であり目標設定にはなじまないため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		48,966.48	41,347.31	44,518.52	47,769.23						

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	給付事務に遺漏がないよう，給付対象者の状況把握に努める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	事業の趣旨を踏まえ，引き続き安定した給付事務を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市内在住の被爆者（被爆者健康手帳の交付を受けているもの）に援護手当及び年末見舞金を支給することで，福祉の向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市内在住の被爆者の福祉の向上を図るため，引き続き援護を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
17	原子爆弾被爆者援護に関すること	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	愛の輪福祉基金積立金										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	009	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	基金の目標額を12億円として積立を行い、その運用収益等をボランティア活動や障がい者の自立と社会参加を促す活動などに助成し、地域福祉の一層の充実を図る。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市愛の輪福祉基金条例					
事業実施内容	市民からの寄付金の積立を行った。 平成30年度寄付件数 284件(ふるさと納税分215件を含む)						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	15,822 千円	積立金	15,822 千円	積立金, 積立金利子											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.25</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.25	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.25
		平成30年度													
	正規職員等	0.25													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.25													
支出済額	費目	支出済額(千円)													
15,822 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他(寄付金・利子)	15,822 千円													
	一般財源														

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		行政費用 A	13,226	107,570	7,397	17,507		
		(1)現金を伴う支出(千円)	12,886	107,573	7,672	17,418		
		事業費(支出済額-②報酬合計)	11,931	106,609	6,265	15,822		
		償還金利子	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	955	964	1,407	1,596		
		職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.22 0.00	0.25 0.00		
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167		
		①職員給与合計(常勤)	904	910	1,398	1,573		
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0		
		③退職金相当額	51	54	9	23		
		(2)現金を伴わない支出(千円)	340	-3	-275	89		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	340	-3	-275	89		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	31.44	420,619	253.04	425,105	17.30	427,501	40.78	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		市民・団体等からの寄付金に対して指標の設定はできないため。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	基金に対する寄付者の理解をより深めてもらうため，周知内容の充実を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	市のホームページなどで愛の輪福祉基金の周知を行う際，活動内容を掲載することで，基金に対する関心を高めてもらう。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	ふるさと納税の増加や高額寄付者がいたことなどから，昨年度より積立額が増加し，地域福祉の充実に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き基金の目標額である12億円を目標とし，今後もホームページやパンフレットの配布等により基金の概要や趣旨についての周知を行う。また，基金の活用内容を周知することで，基金に対する理解をより深めてもらう。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
14	愛の輪福祉基金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	愛の輪福祉基金事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	福祉活動の育成強化及び活動の充実を図るため、愛の輪福祉基金の運用収益等を藤沢市所在の非営利団体等が実施する福祉事業に補助金として助成する。						
対象	3. 団体	民間福祉団体, NPO法人, ボランティア団体等			158	団体	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市愛の輪福祉基金補助金交付要綱						
事業実施内容	補助金の交付を実施した。 平成30年度合計: 158団体 197事業						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会)						
	(委託等内容 : 基金の運用収益等を対象団体へ補助金として交付する事務処理に対する補助業務)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 申請団体へ補助金を交付)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	134 千円	愛の輪福祉基金事務運用支援業務委託
		負担金補助及び交付金	7,729 千円	補助金
7,863 千円				
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他(繰入金)	7,863 千円	
7,863 千円		一般財源		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.42
再任用短時・任期付短時職員	0.08
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	9,745	9,026	12,497	10,691			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	9,405	9,029	12,335	10,889			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	8,450	8,065	8,360	7,863			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	3,975	3,026			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.56 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	3,903	2,979			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	72	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	162	-198			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	162	-198			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	23.17	420,619	21.23	425,105	29.23	427,501	24.90	429,317

成果実績	指標名	交付団体数	目標	166	単位 団体	169	単位 団体	162	単位 団体	167	単位 団体
			実績	169	単位 団体	162	単位 団体	167	単位 団体	158	単位 団体
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			57,662.72	55,716.05	74,832.34	67,664.56					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	補助金申請時の提出書類が多く手続きが煩雑で，補助金利用希望者が交付手続きに時間を要した。
(2) (1)解決のための今後の取組	申請書類の簡素化やわかりやすい申請方法の案内を作成する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	ボランティア団体や民間福祉団体等に補助金を交付することで，団体の育成及び活動の充実，地域福祉の推進につながった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	要綱の改正を行い，補助団体の申請時の負担を軽減するとともに，類似の補助金との調整を行い，藤沢型地域包括ケアシステムの推進につながるような補助金のあり方を検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
14	愛の輪福祉基金に関すること	有	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	障がい者等医療助成費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3121

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 47 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	対象となる障がい者等に対して、所得制限なしで入院・通院に係る医療費の自己負担分(入院時標準負担額を除く)を助成する。						
対象	1. 個人	助成対象者(障がい者等)				11,430 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市障がい者等医療費助成条例 藤沢市障がい者等医療費助成条例施行規則					
事業実施内容	身体障がい者手帳1～3級の方、精神障がい者保健福祉手帳1～2級の方、知能指数50以下の方、65歳以上で身体障がい者手帳4級の一部の方、及び65歳以上で3ヵ月以上ねたきりの方に対して、入院・通院に係る医療費の自己負担分(入院時標準負担額を除く)を助成した。 延べ受給人数138,744人、延べ受診件数384,928件。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (医療費助成の審査支払事務を社保分は支払基金, 国保分は国保連合会と契約)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,761,021 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		賃金	1,401 千円	短時雇用職員1名の賃金
		旅費	4 千円	県庁等への旅費
		需用費	733 千円	消耗品費・印刷製本費
		役務費	24,302 千円	国保連合会・支払基金への支払手数料
扶助費	1,734,581 千円	障がい者等医療助成費		
財源内訳	H30年度 支出済額 1,761,021 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	279,320 千円	
		その他(高額療養費還付金他)	146,680 千円	
一般財源	1,335,021 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	3.19
再任用短時・任期付短時職員	1.56
非常勤職員	0.00
合計	4.75

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	1,755,110	1,685,024	1,738,331	1,798,520			
	(1)現金を伴う支出(千円)	1,744,899	1,688,830	1,736,468	1,797,179			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,705,962	1,659,856	1,704,008	1,761,021			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	38,937	28,974	32,460	36,158			
	職員数(常勤 非常勤)	4.60 2.00	3.50 2.00	3.93 1.00	4.75 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	32,747	23,271	28,940	34,661			
	②報酬合計(非常勤)	4,668	4,668	2,334	0			
	③退職金相当額	1,522	1,035	1,186	1,497			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	10,211	-3,806	1,863	1,341			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	10,211	-3,806	1,863	1,341			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	4172.68	420,619	3963.78	425,105	4066.26	427,501	4189.26	429,317

成果実績	指標名	延べ受診件数	目標	348,876	単位	354,912	単位	386,196	単位	399,709	単位
			実績	352,769	単位	371,977	単位	376,774	単位	384,928	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,975.24	4,529.91	4,613.72	4,672.35		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	神奈川県補助要綱の見直し（年齢制限，所得制限，一部負担金の導入）に伴い，市の事業費負担が増大している。
(2) (1)解決のための今後の取組	本助成制度の安定的な運営のため，関係団体等の意見を聴きながらそのあり方について検討していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	対象となる障がい者等の入院や通院に係る医療費の助成を行うことにより，経済的負担を軽減し，保健の向上と福祉の増進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	神奈川県補助要綱の見直し（年齢制限，所得制限，一部負担金の導入）に伴い，市の事業費負担が増大していることが課題となっており，本助成制度の将来における安定的な運営を図るため，関係団体等の意見を聴きながら，年齢制限・所得制限の導入等について検討を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	償還分についての受付，審査及び助成に関すること	無	無	1	
2	社会保険の高額療養費に関すること	無	無	1	
3	他国保の高額療養費に関すること	無	無	1	
4	藤沢市国保の高額療養費（内部振替）に関すること	無	無	1	
5	療養費（鍼灸・マッサージ等）に関すること	無	無	1	1
6	柔道整復の審査支払に関すること	無	無	1	
7	文書手数料に関すること	無	無	1	
8	直接請求に関すること	無	無	1	
9	過誤調整に関すること	無	無	1	3
10	身体障がい者手帳に基づく医療証の新規交付に関すること	無	無	1	
11	療育手帳に基づく医療証の新規交付に関すること	無	無	1	
12	精神障がい者保健福祉手帳に基づく医療証の更新に関すること	無	無	1	
13	医療証の資格の変更（保険変更等）に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	要援護高齢者福祉タクシー助成事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	細目	006	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	65歳以上の在宅ねたきり高齢者台帳登録者(在宅においてねたきりの状態が6ヵ月経過し、登録をした方)が、通院等で福祉タクシー(リフト付キャブ)を利用する際にかかる費用に対し、助成券を交付し、経済的援助を行う。						
対象	1. 個人	藤沢市在宅ねたきり高齢者台帳登録者	139	人			
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市在宅福祉タクシー利用助成要綱						
事業実施内容	初乗り運賃分を助成する福祉タクシー券を1ヵ月あたり2枚、年間24枚交付。 ・ 交付者数 42人 ・ 利用枚数 412枚						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,269 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	10 千円	協議会委員謝礼
		需用費	8 千円	タクシー券用上質紙
		扶助費	1,251 千円	在宅福祉タクシー利用助成
財源内訳	H30年度 支出済額 1,269 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
一般財源	1,269 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.32
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.32

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	11,296	6,016	2,232	4,419			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,573	6,716	3,569	4,231			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	935	928	1,443	1,269			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,638	5,788	2,126	2,962			
	職員数(常勤 非常勤)	0.80 0.00	0.60 0.00	0.22 0.00	0.32 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	7,232	5,461	2,028	2,826			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	406	327	98	136			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,723	-700	-1,337	188			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,723	-700	-1,337	188			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	26.86	420,619	14.15	425,105	5.22	427,501	10.29	429,317

成果実績	指標名	利用件数	目標	357	単位 件	298	単位 件	314	単位 件	480	単位 件
			実績	310	単位 件	305	単位 件	454	単位 件	412	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			36,438.71	19,724.59	4,916.30	10,725.73					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	高齢化の進展や初乗り30分という時間制料金のために短距離の移動にも過大な費用がかかり，財政的負担の増大の懸念がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用実態に則して，時間制運賃から距離制運賃への見直しを検討していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	福祉タクシー利用券の助成を行うことで，対象者の家族の経済的・身体的な負担の軽減が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	高齢化の進展や初乗り30分という時間制料金のため，財政的な負担が増大しており，利用実態に則して短距離の移動にも対応できるよう，時間制運賃から距離制運賃への見直しについて検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
21	要援護高齢者福祉タクシー助成事業費に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	在日外国人高齢者福祉給付金支給事業費	担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課		
予算科目コード	会計 01 款 04 項 01 目 03 細目 010 説明 01		課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	平成 9 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	市内在住の外国籍等の高齢者で、公的年金の受給のために必要な要件を制度上満たすことができない方に、福祉給付金を支給する。				
対象	1. 個人	公的年金を受けるために必要な要件を制度上満たすことができない市内在住の外国籍等の高齢者			2 人
根拠法令等	その他(要綱等)	外国籍県民高齢者・障害者等福祉給付金助成事業補助金交付要綱, 藤沢市外国籍等高齢者・障がい者福祉給付金支給要綱			
事業実施内容	福祉給付金を受給するために必要な要件を満たす高齢者2人に対し、1人あたり月額20,000円(年額240,000円)を支給した。				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		扶助費	480 千円	市内在住の在日外国籍等の高齢者への福祉給付金の支給
		480 千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	240 千円	
		その他()		
一般財源	240 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.15
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.15

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	2,643	1,670	1,515	2,034
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,201	1,741	1,543	1,925
	事業費(支出済額-②報酬合計)	960	680	480	480
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	1,241	1,061	1,063	1,445
	職員数(常勤 非常勤)	0.13 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	0.15 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	1,175	1,001	1,014	1,375
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	66	60	49	70
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	442	-71	-28	109
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	442	-71	-28	109
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		6.28 420,619	3.93 425,105	3.54 427,501	4.74 429,317

成果実績	指標名	対象者	目標	7	単位	4	単位	2	単位	2	単位
			実績	4	単位	3	単位	2	単位	2	単位
			数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			660,750.00	556,666.67	757,500.00	1,017,000.00					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	給付事務に遺漏がないよう，給付対象者の状況把握に努める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	事業の趣旨を踏まえ，引き続き安定した給付事務を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	福祉給付金を支給することにより，在日外国籍高齢者の福祉の向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き市内在住の在日外国籍等の高齢者で，公的年金を受けるために必要な条件を満たすことができない者に，福祉給付金を支給することにより福祉の向上を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
22	在日外国人高齢者福祉給付金支給事務に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	福寿医療助成費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	細目	015	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3121

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	100歳以上の高齢者に対し、所得制限なしで入院・通院に係る医療費の自己負担分(入院時標準負担額を除く)を助成する。						
対象	1. 個人	助成対象者 (100歳以上の高齢者)					192 人
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市福寿医療費助成条例 藤沢市福寿医療費助成条例施行規則					
事業実施内容	100歳以上の高齢者に対し、福寿医療証を交付し、所得制限なしで入院・通院に係る医療費の自己負担分 (入院時標準負担額を除く) を助成した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (医療費助成の審査支払事務を国保連合会と契約)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 21,860 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		役務費	341 千円	国保連合会への審査支払手数料
		扶助費	21,519 千円	福寿医療助成費
財源内訳	H30年度 支出済額 21,860 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	21,860 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.26
再任用短時・任期付短時職員	0.04
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	27,832	26,283	22,783	23,353
	(1)現金を伴う支出 (千円)	24,428	26,316	24,220	24,504
	事業費(支出済額-②報酬合計)	14,881	16,671	17,099	21,860
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	7,121	2,644
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	0.94 0.00	0.30 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	6,843	2,522
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	507	544	278	122
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	-1,437	-1,151
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-1,437	-1,151
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	66.17 420,619	61.83 425,105	53.29 427,501	54.40 429,317	

成果実績	指標名	延べ受診件数	目標	3,132	単位	3,864	単位	4,152	単位	4,480	単位
			実績	3,710	単位	3,913	単位	4,456	単位	5,330	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			7,501.89	6,716.84	5,112.88	4,381.43					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	高齢化の進展による対象者の増加に伴う財政的負担の増大。
(2) (1)解決のための今後の取組	平成31年3月31日をもって福寿医療費助成制度を廃止した。ただし，経過措置として平成31年3月31日までの資格取得者については，医療費の助成を継続する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	社会に貢献してきた高齢者に敬意を表するとともに，一層の健康と長寿を願い，所得制限なしで入院・通院にかかる医療費の助成を行うことにより，対象となる高齢者の経済的負担が軽減された。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	平成31年3月31日をもって福寿医療費助成制度を廃止した。ただし，経過措置として平成31年3月31日までの資格取得者については，医療費の助成を継続する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	償還分についての受付，審査及び助成に関すること	無	無	1	
5	療養費（鍼灸・マッサージ等）に関すること	無	無	1	1
6	柔道整復の審査支払に関すること	無	無	1	
9	過誤調整に関すること	無	無	1	3
13	医療証の資格の変更（保険変更等）に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	高齢者いきいき交流事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	細目	016	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	本市在住の70歳以上の高齢者を対象に、本市指定のはり・きゅう・マッサージ治療院で施術を受けたときに要する費用、市内公衆浴場・いきいきシニアセンター(老人福祉センター)での入浴に要する費用、鶴沼(八部)運動施設等の公設スポーツ施設及び保健医療センターのトレーニング室利用に要する費用の一部を助成する。				
対象	1. 個人	70歳以上の市民			76,518 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市高齢者いきいき交流事業要綱				
事業実施内容	継続利用者へ年度当初に助成券を交付するとともに、毎月、70歳の誕生日を迎える等の新規対象者に、個別に申請用ハガキを送付し、申請に応じて助成券を交付した。 ○ 交付申請者 46,737人 ○ 全施設利用枚数 1,792,245枚				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)昇寿堂) (委託等内容 : 助成券の作成, 宛名印字, 封入封緘等) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 198,428 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		賃金	1,768 千円	臨時職員の雇用
		需用費	432 千円	申請はがき等の作成
		役務費	8,475 千円	手数料
		委託料	8,528 千円	次年度の助成券の封入封緘作業
		扶助費	179,225 千円	施設利用等助成金
財源内訳	H30年度 支出済額 198,428 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他(後期高齢者医療制度事業補助金)	10,396 千円	
		一般財源	188,032 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.70
再任用短時・任期付短時職員	0.08
非常勤職員	0.00
合計	0.78

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	184,384	185,207	193,145	205,178			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	181,899	185,568	193,241	205,248			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	174,930	179,491	186,958	198,428			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	6,969	6,077	6,283	6,820			
	職員数(常勤 非常勤)	0.73 0.00	0.63 0.00	0.65 0.00	0.78 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	6,599	5,734	5,992	6,515			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	370	343	291	305			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,485	-361	-96	-70			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,485	-361	-96	-70			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	438.36	420,619	435.67	425,105	451.80	427,501	477.92	429,317

成果実績	指標名	助成券利用枚数	目標	1,675,530	単位 枚	1,678,690	単位 枚	1,809,504	単位 枚	1,908,748	単位 枚
			実績	1,590,939	単位 枚	1,631,504	単位 枚	1,695,578	単位 枚	1,792,245	単位 枚
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				115.90		113.52		113.91		114.48	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	交付率に比べ，利用率の低さが課題となっている。また，高齢化の進展に伴う対象者の増加により，財政的負担が増大している。
(2)	(1)解決のための今後の取組	利用実態を踏まえ，事業のあり方について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	利用者に対するアンケートを実施し，その検証を行うとともに，他市における取組事例の調査等を踏まえ，抜本的な見直しの検討を行った。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	現行制度については，関係事業者との調整ののち事業の見直しを行うとともに，現在他市で行っている事業を参考とした，民間事業者の活力を利用した幅広いサービスの提供が見込まれる新規事業を立ち上げる。事業見直しにより影響を受ける関係団体とは引き続き丁寧に調整し，受益の公平性を踏まえ，今後の事業のあり方や実施方法について，令和3年度の事業実施に向けた総合的な検討を継続する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	高齢者いきいき交流事業に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	敬老祝金事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	03	細目	019	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	高齢者の長寿を祝うため、節目の年齢を迎えた高齢者へ祝金品等を贈呈する。				
対象	1. 個人	90歳・100歳になる市民			1,372・107 人
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市敬老祝金等交付要綱			
事業実施内容	敬老祝金の贈呈を行った。 90歳: 5,000円 100歳: 20,000円・市長の訪問・花束・記念品の贈呈及び記念写真撮影				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(:)	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(:)	
	<input type="checkbox"/> その他	(:)	

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 8,838 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	8,682 千円	敬老祝金および祝品等
		旅費	1 千円	県庁出張
		需用費	142 千円	消耗品, 敬老祝金祝儀袋印刷
		役務費	13 千円	敬老祝金配付損害保険料
財源内訳	H30年度 支出済額 8,838 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	8,838 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.52
再任用短時・任期付短時職員	0.08
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	行政費用 A	0	0	10,726	14,498	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	11,671	13,924	
	事業費(支出済額-②報酬合計)			9,061	8,838	
	償還金利息			0	0	
	人件費合計(①+②+③)	0	0	2,610	5,086	
	職員数(常勤 非常勤)			0.27	0.00	
	参考:正規職員平均給与			9,219	9,167	
	①職員給与合計(常勤)			2,489	4,865	
	②報酬合計(非常勤)			0	0	
	③退職金相当額			121	221	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	-945	574	
	①減価償却費			0	0	
	②退職給与引当金繰入額			-945	574	
	③不納欠損額			0	0	
④その他()			0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)			25.09	427,501	33.77	429,317

成果実績	指標名	敬老祝金贈呈者数 【80歳・90歳・100歳】	目標	【3,300・1,100・100】	単位	人	【3,600・1,150・115】	単位	人	【0・1,260・133】	単位	人	【0・1,372・107】	単位	人
		※80歳祝金についてはH28に廃止	実績	【3,203・980・70】	単位	人	【3,551・1,061・86】	単位	人	【0・1,120・99】	単位	人	【0・1,239・76】	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-			-			-			-			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	長年，社会に貢献された高齢者に対し敬愛の意を表し，その長寿を祝うことは大切であるが，対象者の増加に伴い財政負担が増大している。
(2) (1)解決のための今後の取組	平成30年度に行った外部評価委員会の意見や，過去の経緯，他市町村の状況も参考にしながら，見直しの検討を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	節目の年齢を迎えた高齢者に対する祝金品等の贈呈を通じて，高齢者福祉の増進及び敬愛思想の高揚が図られた。対象者の増加に伴い，財政負担が増大している。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	見直し検討対象事業として，見直しを行っているが，事業の趣旨やこれまでの祝金制度変更の経緯，他市町村の実施状況等を踏まえ，現状維持としたい。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
19	敬老祝金事業に関すること	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	市営斎場管理費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市斎場条例に基づく藤沢市斎場の運営管理を行い、市民に葬祭の用に供する施設を提供することにより、市民生活の利便を図る。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市斎場条例, 藤沢市斎場条例施行規則					
事業実施内容	葬儀及び法事を行う場所として24時間利用可能な大小ホールや控室を市民に提供するとともに、葬祭に関する相談業務を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市葬祭業組合, (株)サンエーサンクス藤沢支店 ほか) (委託等内容: 受付業務委託, 清掃等業務委託 ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ():						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 25,009 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	130 千円	受付業務員報酬
		需用費	8,229 千円	光熱水費電気代, 施設修繕費, 光熱水費上下水道代
		役務費	223 千円	通信運搬費電信電話料, 手数料
		委託料	16,372 千円	その他の委託料(経常), 総合管理委託, 警備委託
		使用料及び賃借料	55 千円	賃借料(土地・建物以外), 使用料
財源内訳	H30年度 支出済額 25,009 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	24,811 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他(光熱水費収入)	198 千円	
		一般財源		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.49
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.49

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	25,937	38,138	36,664	40,531
	(1)現金を伴う支出 (千円)	25,256	27,635	25,642	29,731
	事業費(支出済額-②報酬合計)	23,347	25,706	21,969	25,009
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	3,673	4,722
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.38 0.00	0.49 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	3,503	4,492
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	101	109	170	230
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	10,503	11,022	10,800
	①減価償却費	0	10,510	10,510	10,510
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	512	290
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	61.66 420,619	89.71 425,105	85.76 427,501	94.41 429,317	

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	死亡者に対する葬儀・法事を目的とした利用件数は指標設定に適さないため。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設老朽化に伴い設備等の不具合に際して修繕を行っているが，照明，空調，消防設備など施設運営への影響が大きい修繕が多く，経費も増加している。
(2) (1)解決のための今後の取組	建物の状態を総合的に勘案した修繕等の長期的な見通しを策定するなど，効率的な財源の活用法を見出す必要があると考えられる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	大小ホールや控室を，葬儀及び法事を行う場所として市民の利用に供するとともに，葬祭に関する相談業務を行い，市民生活に欠かせない葬祭の場の提供を行った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持 施設老朽化に伴う修繕及び工事費の増加が懸念される。中長期的な修繕計画を立て，施設の保全を図っていく必要がある。また，家族葬など葬儀の形態の変化等により大ホールの使用が減り，小ホールの使用が増える傾向にあり，事業を堅持するため市民ニーズに対応した運営を行う。

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
27	斎場の維持管理・運営	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	保健衛生総務費	担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課	
予算科目コード	会計 01 款 05 項 01 目 01 細目 011 説明 01	課等の長	矢内 健	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	墓地、埋葬等に関する法律に基づく埋火葬に関する業務、公衆浴場設備整備費補助及び課内庶務を行う。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	墓地、埋葬等に関する法律、藤沢市公衆浴場設備整備費補助金交付要綱					
事業実施内容	墓地、埋葬等に関する法律に基づく埋火葬に関する業務、課内庶務を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(:)			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(:)			
	<input type="checkbox"/> その他	(:)			

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	3,168 千円	旅費	7 千円	保健衛生業務に係る旅費
		需用費	255 千円	課内消耗品、公用車燃料購入 他
		役務費	2,906 千円	引取者のない遺体火葬措置費用、ファックス通信費
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	3,168 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源		3,168 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.52
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.52

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト支出	行政費用 A	29,917	24,274	2,908	8,123
	(1)現金を伴う支出 (千円)	23,110	24,338	8,029	8,179
	事業費(支出済額-②報酬合計)	4,016	5,047	3,002	3,168
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	19,094	19,291	5,027	5,011
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 0.00	2.00 0.00	0.52 0.00	0.52 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	18,080	18,202	4,794	4,767
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	1,014	1,089	233	244
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	6,807	-64	-5,121	-56
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	6,807	-64	-5,121	-56
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	71.13 420,619	57.10 425,105	6.80 427,501	18.92 429,317	

成果実績	指標名	引取者のない遺体取扱件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	9	単位	13	単位	14	単位	21	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		引取者のない遺体の件数については、不確定要素であり、目標件数の設定はできないため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,324,111.11		1,867,230.77		207,714.29		386,809.52			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	引取者のない遺体の取扱件数が前年度を大きく上回った。複雑なケースの親族調査等があり，1件毎の火葬までに時間を要した。
(2)	(1)解決のための今後の取組	引取者のない遺体の取扱いについては，親族調査等を迅速・的確に行うことで，事務処理期間を短縮する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	衛生行政の円滑な遂行が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	墓地・埋葬等に関する法律に基づく埋火葬に関する業務，及び公衆浴場設備整備費補助を適切に進めることで，公衆衛生の確保に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
32	公衆浴場設備整備費補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	ふれあい入浴事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	012	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3124

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域交流の場として公衆浴場で行う入浴デー事業やイベント事業等について、藤沢浴場組合へ委託する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等							
事業実施内容	年間を通じて藤沢市浴場組合に委託し、市内3カ所の浴場で、「高齢者サービスデー」、「親子ふれあい入浴デー」、「イベントデー」の入浴サービス事業を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢浴場組合) (委託等内容 : 公衆浴場で行う入浴デー事業やイベント事業等の実施) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	支出済額	費目	支出済額 (千円)		主な事業内容
	12,696 千円	委託料	12,696 千円		ふれあい入浴事業業務委託
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		平成30年度	
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	正規職員等	
	12,696 千円	分担金・負担金		0.55	
		使用料・手数料		再任用短時・任期付短時職員	
		国庫支出金		0.08	
		県支出金		非常勤職員	
	その他 ()		0.00		
	一般財源		12,696 千円	合計	
				0.63	

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	17,654	17,196	16,321	16,986			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	16,633	17,206	16,864	16,852			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	13,769	14,313	12,987	12,696			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,893	3,877	4,156			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.55 0.00	0.63 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	3,810	4,062			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	163	67	94			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	-10	-543	134			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	-543	134			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	41.97	420,619	40.45	425,105	38.18	427,501	39.57	429,317

成果実績	指標名	ふれあい入浴クーポン券利用者数	目標	37,715	単位	人	37,881	単位	人	38,939	単位	人	37,318	単位	人
			実績	37,239	単位	人	38,798	単位	人	34,944	単位	人	34,001	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				474.07			443.22			467.06			499.57		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	公衆浴場への運営費補助的な側面が強いことや, 浴場が限られた地域にしかないため地域外の方の利用頻度が少ないなど, 受益の公平性の観点で課題がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	現在行っている事業の実施方法について, 現行の委託から浴場組合の自主事業に対する補助事業への転換について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公衆衛生の確保及び地域交流の活性化が図られたが, 利用実績は昨年から微減となっている。事業見直しの一環として平成31年4月から各イベントデーの中学生以上の利用者負担を100円から200円に増額し, その分市の事業負担の軽減を図った。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	業務委託による事業方法の是非についての議会等での指摘も踏まえ, 浴場組合の自主事業に対する補助事業への転換について検討する。他市町村の状況や高齢者いきいき交流事業の見直しの状況も合わせ, 藤沢浴場組合と十分に協議を重ねていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
31	ふれあい入浴事業に係る委託契約に関すること	有	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	墓地管理費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 24 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢市西富墓地の維持管理。				
対象	1. 個人	墓地使用者			392 人
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市西富墓地条例, 藤沢市西富墓地条例施行規則			
事業実施内容	墓地管理料の徴収を行い, 藤沢市西富墓地の土地賃貸借及び墓域内の清掃, 草刈り, 樹木の剪定, 通路の修繕等の整備を行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(:)	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(:)	
	<input type="checkbox"/> その他	(:)	

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 5,110 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	60 千円	報償金(経常分)
		需用費	1,046 千円	施設修繕費, 光熱水費上下水道代, 消耗品費
		役務費	2,554 千円	手数料, 傷害保険料・損害保険料
		使用料及び賃借料	1,450 千円	土地・建物賃借料
財源内訳	H30年度 支出済額 5,110 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,536 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源		3,574 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.38
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.38

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	7,436	6,422	7,480	9,042			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,415	6,432	7,617	8,771			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,551	3,539	4,911	5,110			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,893	2,706	3,661			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.28 0.00	0.38 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	2,581	3,483			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	163	125	178			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	-10	-137	271			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	-137	271			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	17.68	420,619	15.11	425,105	17.50	427,501	21.06	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	限定された区画数の墓所の維持管理であり、指標設定に適さないため。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	墓所が斜面地に設置されているため，通路等に段差が多いが，手すり等の設置が不十分であるなどの課題があるほか，斜面表土の崩れ等の劣化が目立つ。承継者不在等による墓地返還数が若干増加している。
(2) (1)解決のための今後の取組	墓参者の利便性向上や安全の確保のため，適宜，修繕や草刈り，樹木伐採等を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	墓域内の清掃，草刈り，通路等の修繕を行うことにより，墓地の環境向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	西富墓地の土地賃貸借を継続するとともに，墓域内の清掃，草刈り，通路の修繕等を行い，良好な墓地環境の維持を図る。墓参者の利便性や安全の確保のための環境整備も進めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	西富墓地施設の維持管理，運営に関すること	無	無	1	
28	改葬の許可	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	火葬場管理費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢聖苑(火葬場)の維持管理及び運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市火葬場条例, 藤沢市火葬場条例施行規則				
事業実施内容	市民の火葬の用に供するため, 施設の修繕及び火葬炉の運用や保守点検, 会葬者への湯茶接待, 施設全体の管理等を委託により実施した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: (株)五輪, (株)宮本工業所, 藤沢市母子寡婦福祉会 ほか) (委託等内容: 火葬業務, 火葬炉保守点検業務, 湯茶接待業務 ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 119,022 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	3,849 千円	非常勤職員日額報酬
		需用費	37,278 千円	施設修繕費及び光熱水費
		役務費	1,300 千円	樹木伐採
		委託料	76,198 千円	総合管理業務, 火葬業務, 湯茶接待業務
		その他	397 千円	旅費, 使用料及び賃借料, 原材料費
財源内訳	H30年度 支出済額 119,022 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	62,607 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	56,415 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.56
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	1.00
合計	1.56

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	122,423	146,787	156,504	157,064			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	121,402	113,717	122,313	124,419			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	118,538	110,824	111,914	115,173			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,893	10,399	9,246			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.68 2.00	0.56 1.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	6,269	5,134			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	3,826	3,849			
	③退職金相当額	152	163	304	263			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	33,070	34,191	32,645			
	①減価償却費	0	33,080	33,080	33,080			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	1,111	-435			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	291.05	420,619	345.30	425,105	366.09	427,501	365.85	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		火葬件数等は指標設定に適さないため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	火葬件数が年々増加しており，現状の稼働では死亡から火葬までの日数が増える見込みがあるが，稼働数を増やすには，施設運用の見直しのほか，運営に必要な経費を増やす必要がある。更に施設の老朽化に伴い，修繕費等の維持経費が増加している。
(2) (1)解決のための今後の取組	稼働については，一日の火葬件数の増加や休業日である友引日の開場等を検討していく。また，施設の老朽化については，施設運営において生じた不具合箇所を適宜修繕するとともに，平成29年度に行った劣化診断により，耐用年数等を考慮し，計画的に修繕を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市内に一つしかない施設の安全確実な運営を行った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	施設の老朽化による修繕対応とともに，年々増える火葬件数への対応が必要となっている。施設修繕については，空調設備やトイレ改修など利用者の利便性向上に寄与することを優先するほか，設備の耐用年数等を考慮した中長期的な計画を立てて対応していく。火葬件数の増加については，一日の火葬上限数の増加や友引日の開場等の運営方法の見直し，火葬炉の増設など多方面から対応を検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
24	藤沢聖苑施設の維持管理，運営に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	火葬場整備事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	細目	002	説明	02	課等の長	矢内 健	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢聖苑(火葬場)の建物や機械設備等の機能維持のため、施設の改修工事や機器の更新を行うことにより、安全・確実な運営体制の維持・確保を図る。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	条例(市) 藤沢市火葬場条例, 藤沢市火葬場条例施行規則						
事業実施内容	火葬炉等設備の改修工事を行った。併せて、平成30年度から令和元年度の継続事業である敷地南側斜面地の防護工事に着手した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (土砂災害防止対策事業債)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		主な事業内容
	61,229 千円	工事請負費	61,229 千円		斜面地対策工事・火葬炉付帯設備改修工事
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		平成30年度	
	支出済額	費目	支出済額(千円)	正規職員等	
	61,229 千円	分担金・負担金		0.42	
		使用料・手数料		0.00	
		国庫支出金		0.00	
		県支出金		0.42	
	その他(地方債)	57,600 千円		合計	
	一般財源	3,629 千円			

正規職員等	0.42
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.42

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	21,227	30,165	76,447	65,231
	(1)現金を伴う支出(千円)	18,844	30,188	77,497	65,276
	事業費(支出済額-②報酬合計)	12,161	23,436	73,437	61,229
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	6,683	6,752	4,060	4,047
	職員数(常勤 非常勤)	0.70 0.00	0.70 0.00	0.42 0.00	0.42 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	6,328	6,371	3,872	3,850
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	355	381	188	197
	(2)現金を伴わない支出(千円)	2,383	-23	-1,050	-45
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	2,383	-23	-1,050	-45
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	50.47 420,619	70.96 425,105	178.82 427,501	151.94 429,317	

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		火葬場施設の機能維持を目的とした事業であり、指標設定には適さないため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	火葬件数の増加に伴って火葬炉の使用頻度が増えており，さらに施設老朽化が進んでいるため，今後，大規模修繕・工事等の必要性が見込まれる。
(2) (1)解決のための今後の取組	平成29年度に行った劣化診断をもとに，設備等の改修の優先順位を定め，計画的に工事等を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	設備の改修工事により，火葬から収骨までの業務が円滑に執り行える環境整備が図られた。また，周辺斜面地の防護工事により，土砂災害等を減災し，市民及び施設利用者の安全・安心を確保することに努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市内に一つしかない施設の安定運用のためには，大規模修繕や工事等の対応を進めていく必要がある。中長期の修繕計画を立てることで，施設の延命を図っていく。また，施設周辺の斜面地は県の土砂災害警戒区域に指定されており，周辺に民家もあることから，斜面の防護工事を行い，市民及び施設利用者の安全・安心を確保していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
24	藤沢聖苑施設の維持管理，運営に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	墓園事業費特別会計										担当課	部課名	福祉健康部福祉医療給付課			
予算科目コード	会計	15	款	0	項	0	目	0	細目	00	説明	0	課等の長	矢内 健	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理等を行う。				
対象	1. 個人	墓地を有しない市民, 墓地使用者	429,317	人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市大庭台墓園の墓所の管理に関する条例			
事業実施内容	墓地管理料の徴収, 墓所管理, 植栽管理, 清掃, 機械警備, 電気工作物保守点検等の業務委託や施設の各種修繕を行った。また, 707基の新規墓所を提供した。				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 公益財団法人 藤沢市まちづくり協会 ほか) (委託等内容 : 大庭台墓園の墓所管理業務 ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 523,401 千円	事業費節別内訳		主な事業内容	
		費目	支出済額(千円)		
		墓園管理費	276,897 千円		公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理
		貸付事務費	5,598 千円		大庭台墓園の墓地使用者の公募及び貸付業務
		工事費	71,681 千円		公園墓地としての大庭台墓園の整備事業
		墓園基金積立金	167,908 千円		墓地永代使用料等を原資とし, 基金運用収益等を基金に編入
財源内訳	H30年度 支出済額 523,401 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料	380,508 千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
その他(繰入金等)	142,893 千円				
		一般財源			

	平成30年度
正規職員等	1.63
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.50
合計	2.13

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	637,872	680,688	850,356	537,996			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	630,489	629,609	849,809	539,108			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	609,839	608,762	827,470	521,845			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	20,650	20,847	22,339	17,263			
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 1.00	2.00 1.00	2.15 1.00	1.63 0.50			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	18,080	18,202	19,821	14,942			
	②報酬合計(非常勤)	1,556	1,556	1,556	1,556			
	③退職金相当額	1,014	1,089	962	765			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	7,383	51,079	547	-1,112			
	①減価償却費	0	50,616	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	6,807	-64	-35	-1,798			
	③不納欠損額	576	527	582	686			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	1516.51	420,619	1601.22	425,105	1989.13	427,501	1253.14	429,317

成果実績	指標名	墓所使用区画数	目標	31,338	単位	31,896	単位	32,349	単位	32,825	単位
					区画		区画		区画		区画
	実績	31,491	単位	31,884	単位	32,370	単位	32,933	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		20,255.69	21,348.89	26,269.88	16,336.08					

※1 職員数…〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費…〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額…年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	社会情勢の変化に伴い，市民の墓地需要も多様化している。市民ニーズや墓地需要動向に合わせ，今後の市営墓地のあり方をどのようなものとするか検討する必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	墓地需要調査を実施し，市民の需要に適した市営墓地計画を策定する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	既存墓地の維持管理等により墓園・墓所の環境向上が図られた。また，目標以上の新規申込があり，市民の墓地需要に対応することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	平面墓地の再募集に多数の申込がある一方，承継者不在等による墓じまいや合葬納骨壇の利用申込者も増加しており，多様化する市民ニーズを把握し，市営墓地としてのあり方を改めて検討した上で，合祀墓の建設を含む墓地整備計画を検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
28	改葬の許可	無	無	1	
29	施設の維持管理に関すること	無	無	1	3
30	基金に関すること	無	無		1

※リスク分類Ⅰ…市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ…組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------